

治安等に関するアンケート結果 (第13回：令和3年1月実施)

- テーマ
「治安等に関するアンケート」
- 実施時期
令和3年1月
- 調査の目的
県民の皆様の治安等に関する御意見を伺い、安全に安心して暮らせる鹿児島を創造するための警察活動に役立てるため。
- 対象者数
200人
- 回答者数
134人(67.0%)



令和3年4月

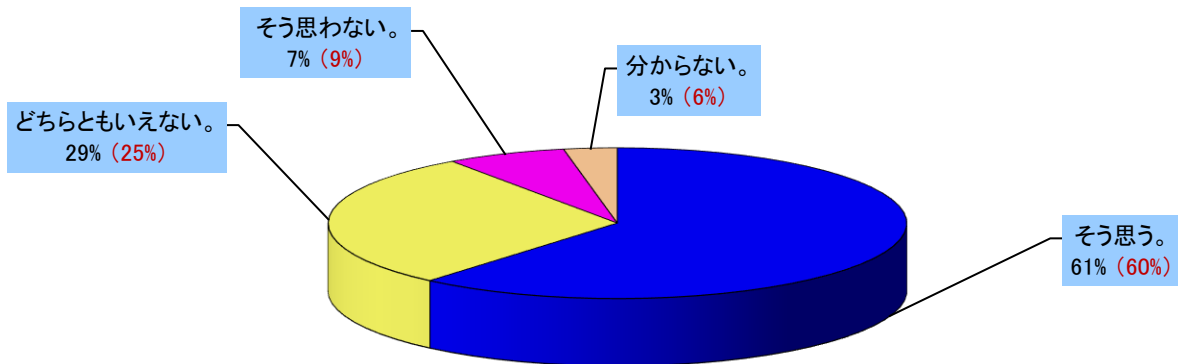
鹿児島県警察本部



1 鹿児島県の治安について

※()は、前回アンケート結果(令和2年1月実施)

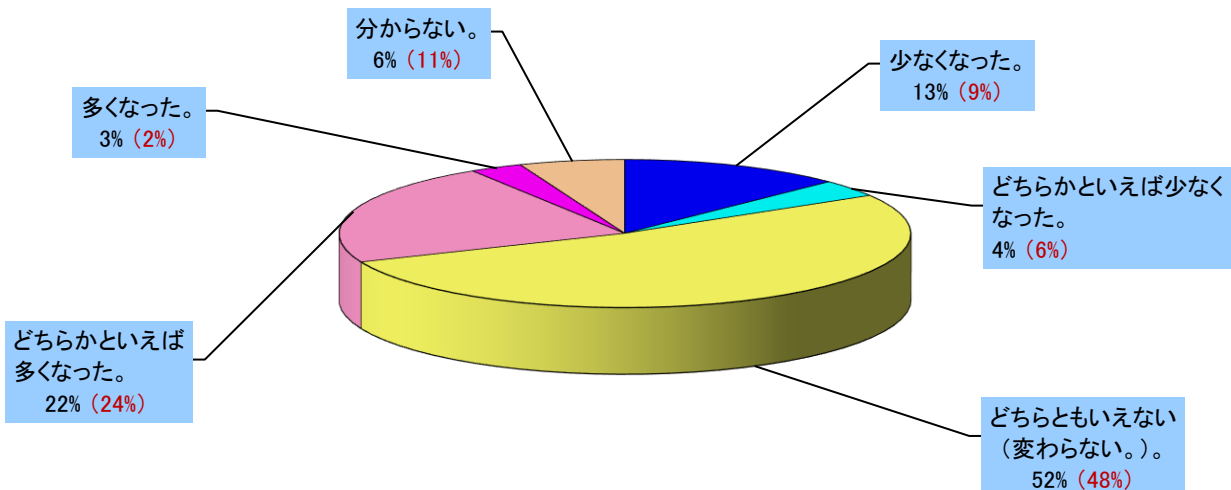
問1 あなたは、現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思いますか。



「現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であるか」について、「そう思う。」と回答した方は61パーセントであり、前回の調査時より1ポイント増加しており、11年連続で半数を超えた。また「どちらともいえない。」と回答した方は29パーセントであり、前回の調査時より4ポイント増加した。

一方、「そう思わない。」と回答した方は7パーセントと前回の調査時より2ポイント減少した。

問2 あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。

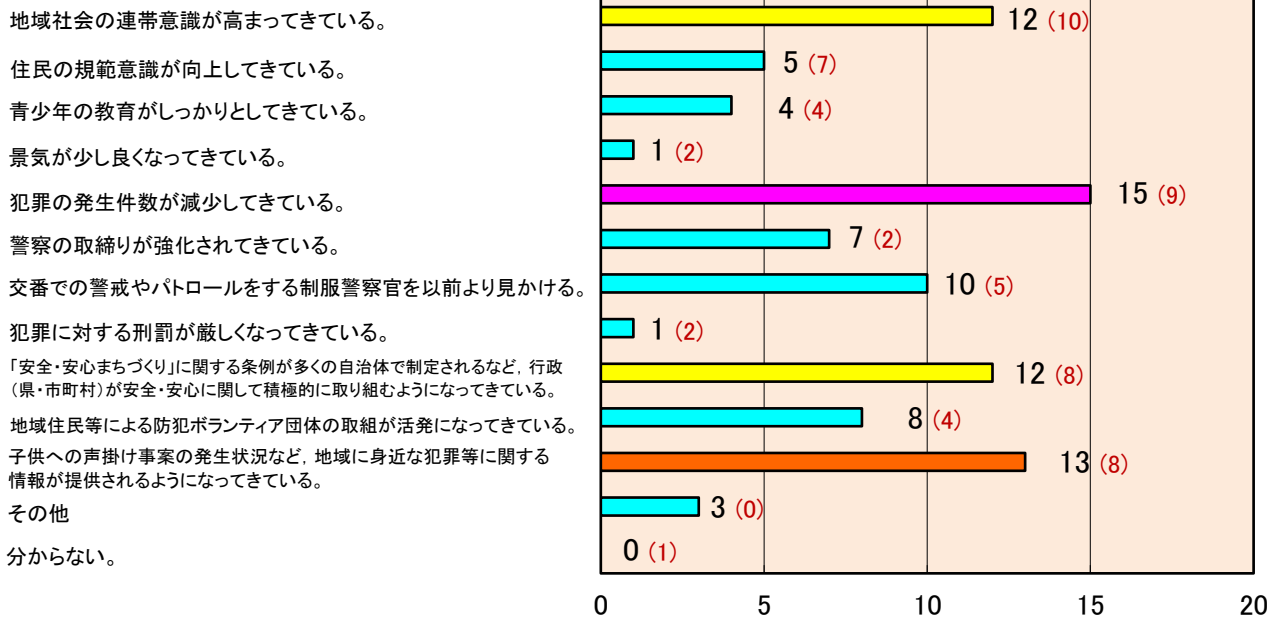


「あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方は17パーセントであり、前回の調査時より2ポイント増加した。

また、「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方は25パーセントであり、前回の調査時より1ポイント減少した。

更問① 不安になることが少なくなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

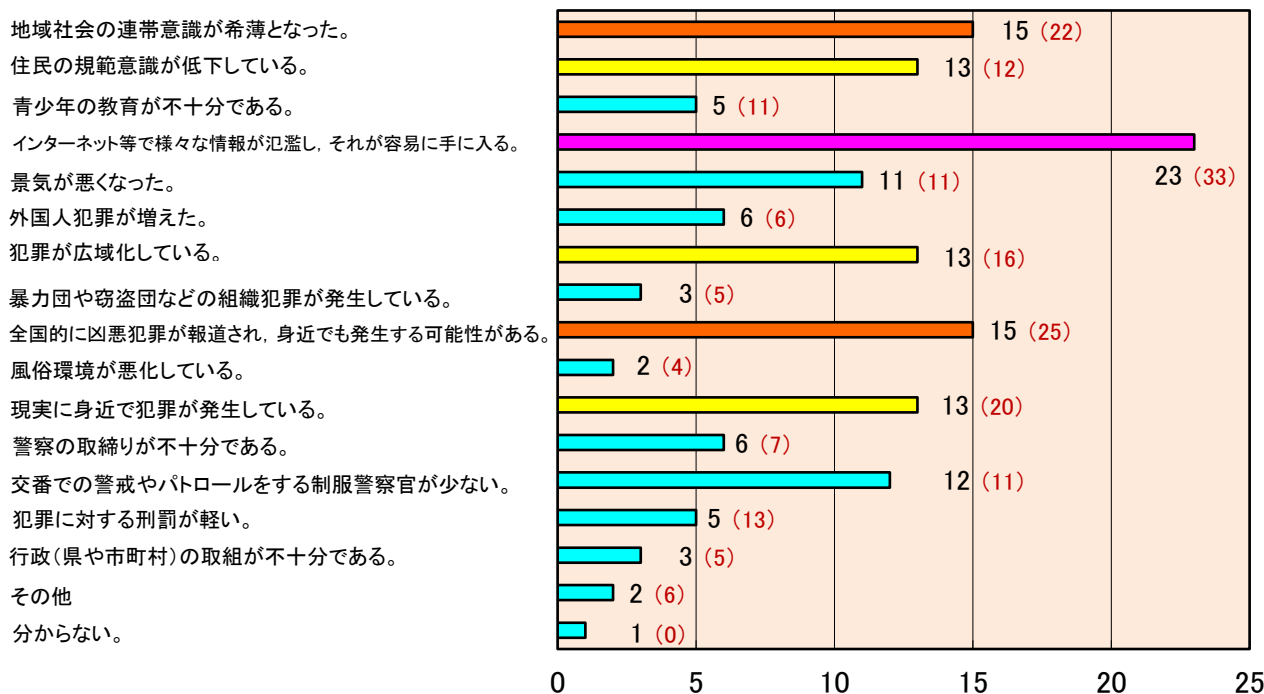
～ 問2で「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方への再質問 (単位:人)



「ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「犯罪の発生件数が減少してきている。」が最多で、次いで「子供への声掛け事案の発生状況など、地域に身近な犯罪等に関する情報が提供されるようになってきている。」であり、「地域社会の連帯意識が高まってきている。」、「「安全・安心まちづくり」に関する条例が多く自治体で制定されるなど、行政(県・市町村)が安全・安心に関して積極的に取り組むようになってきている。」が同順の回答である。

更問② 不安になることが多くなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

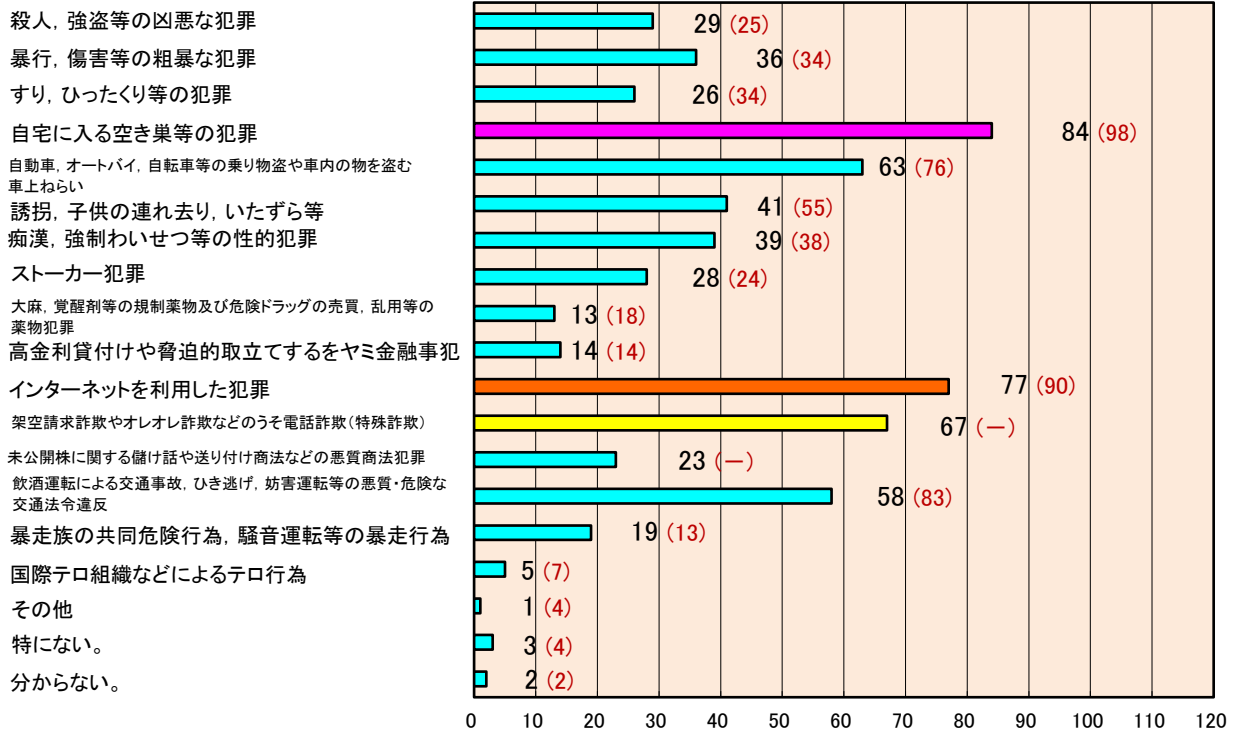
～ 問2で「どちらかといえば多くなった。」又は「多くなった。」と回答した方への再質問 (単位:人)



「ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「どちらかといえば多くなった。」又は「多くなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「インターネット等で様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入る。」が最多で、次いで「地域社会の連帯意識が希薄となった。」、「全国的に凶悪犯罪が報道され、身近でも発生する可能性がある。」が同順の回答である。

問3 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪は何ですか。
(複数回答可)

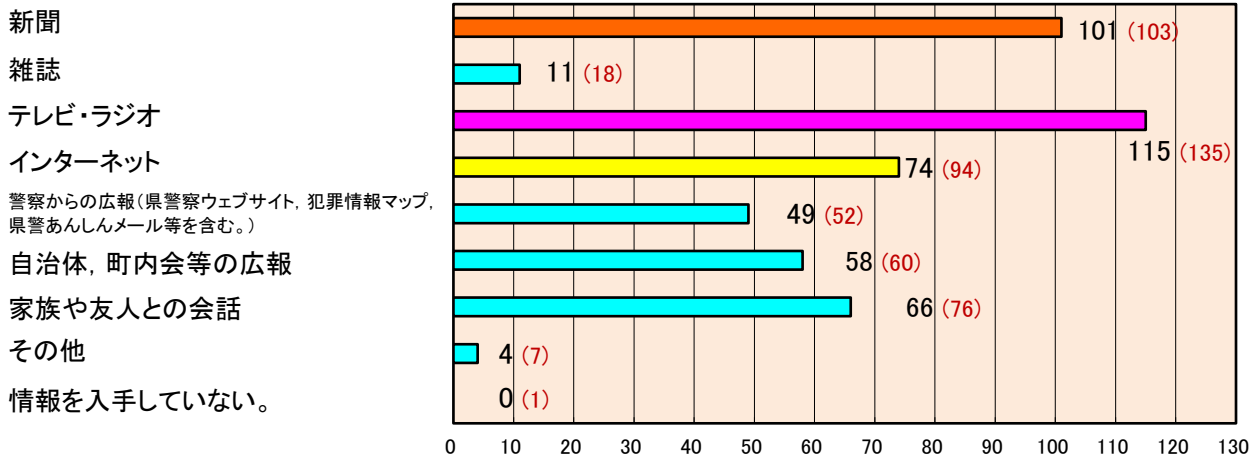
(単位:人)



「自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪」については、「自宅に入る空き巣等の犯罪」が最多で、次いで「インターネットを利用した犯罪」、「架空請求詐欺やオレオレ詐欺などのうそ電話詐欺(特殊詐欺)」の順に回答が多い。

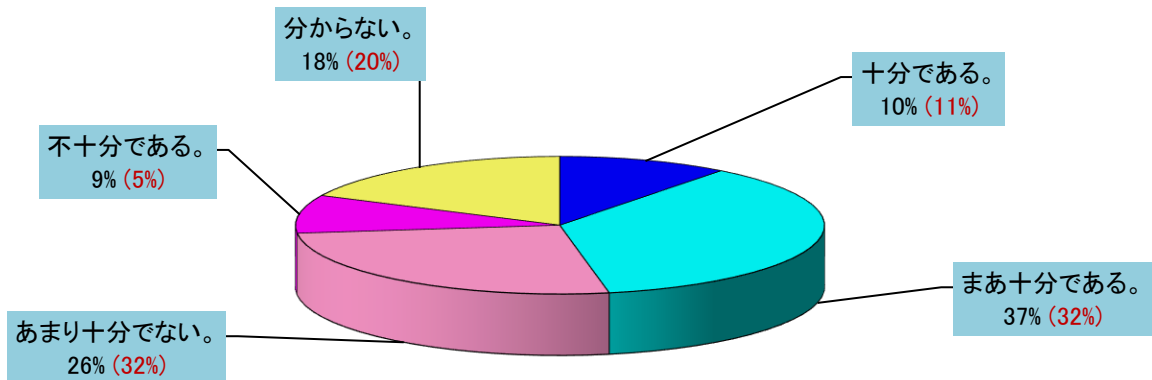
2 治安や犯罪に関する情報について

問4 あなたは、どのような方法で治安や犯罪に関する情報を入手していますか。
(複数回答可) (単位:人)



治安や犯罪に関する情報の入手方法については、「テレビ・ラジオ」が最多で、次いで「新聞」, 「インターネット」の順に回答が多い。

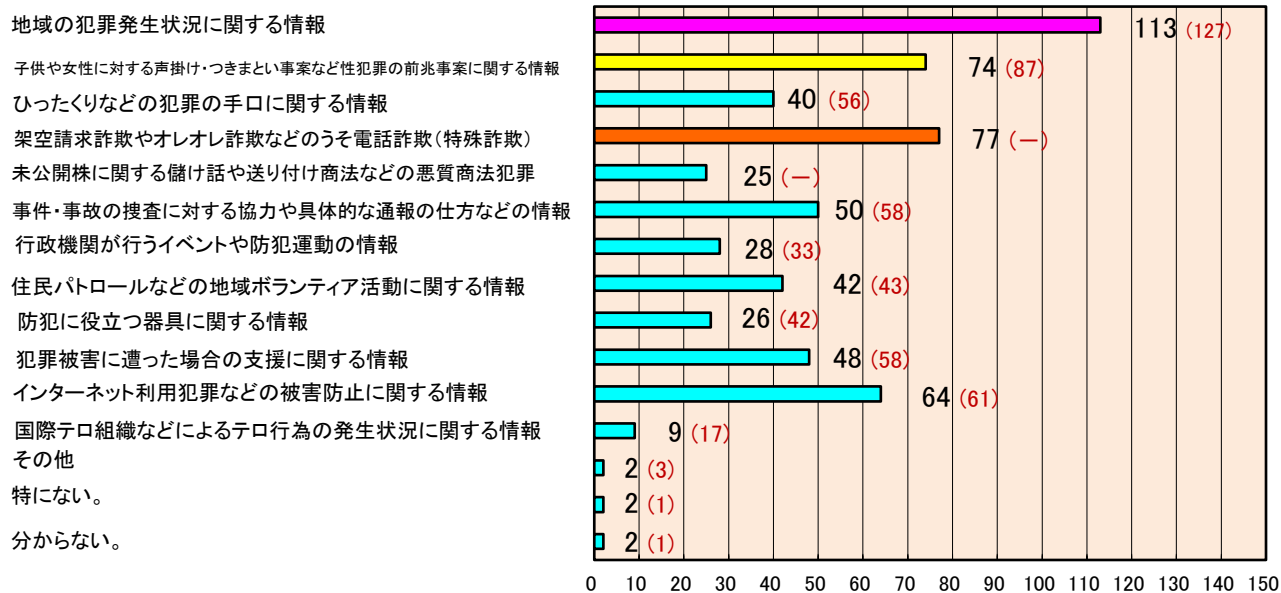
問5 あなたは、警察及び自治体からの治安や犯罪に関する情報提供は十分だと思いますか。



警察や自治体からの治安情報等の提供について、「十分である。」又は「まあ十分である。」と回答した方は47パーセントで、前回の調査時より4ポイント増加した。また「不十分である。」又は「あまり十分でない。」と回答した方は35パーセントで、前回の調査時より2ポイント減少している。

問6 あなたは、治安や犯罪に関する情報として、警察からどのようなものが提供されたら良いと思いますか。(複数回答可)

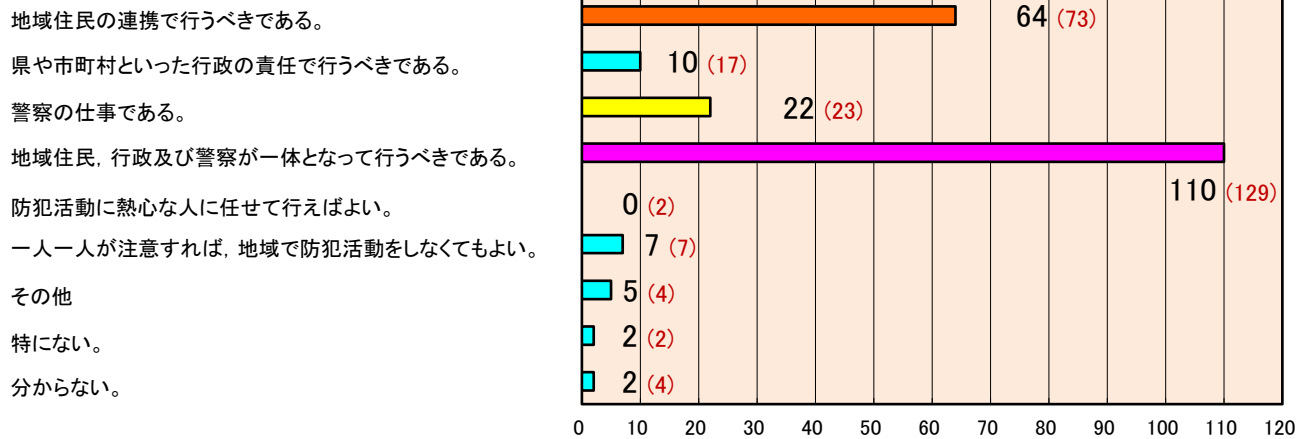
(単位:人)



警察や自治体に提供を求める情報については、「地域の犯罪発生状況に関する情報」が最多で、次いで「架空請求詐欺やオレオレ詐欺などのうそ電話詐欺(特殊詐欺)」、「子供や女性に対する声掛け・つきまとい事案など性犯罪の前兆事案に関する情報」の順に回答が多い。

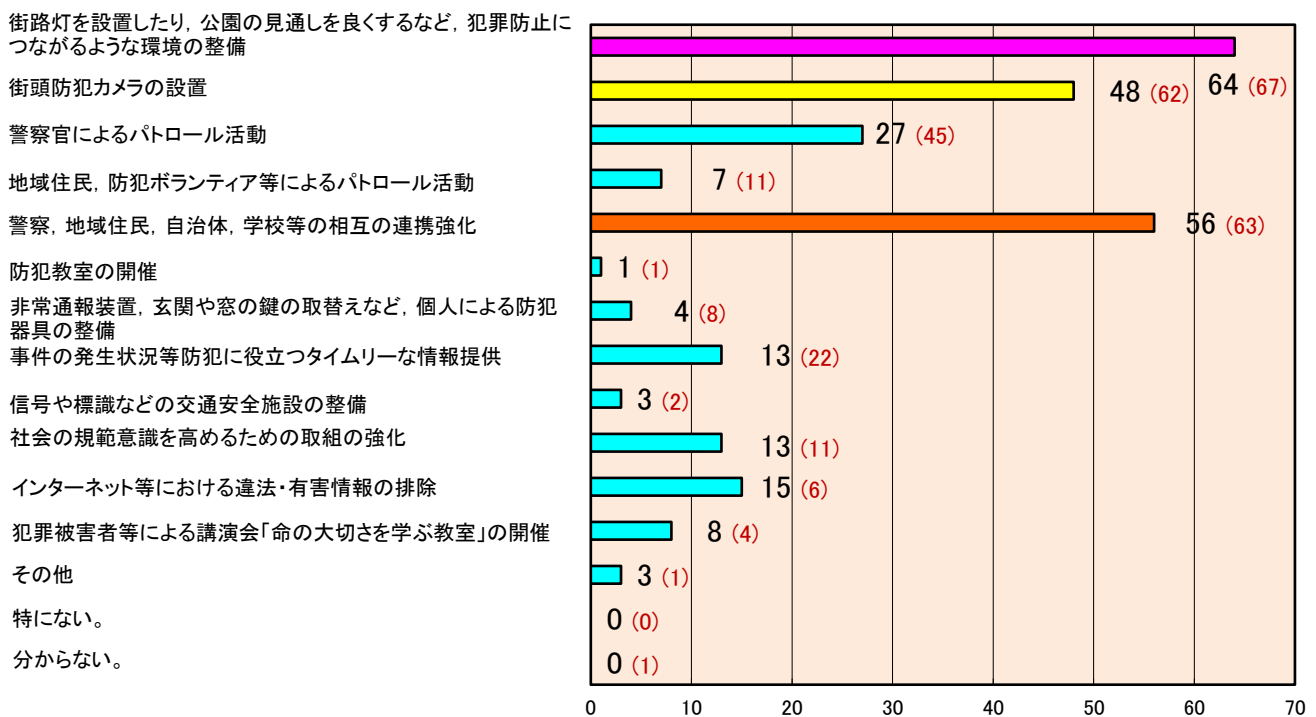
3 犯罪の起きにくい社会づくりについて

問7 犯罪の起きにくい社会づくりを行うために、あなたの考え方に近いものはどれですか。
(この中から2つまであげてください) (単位:人)



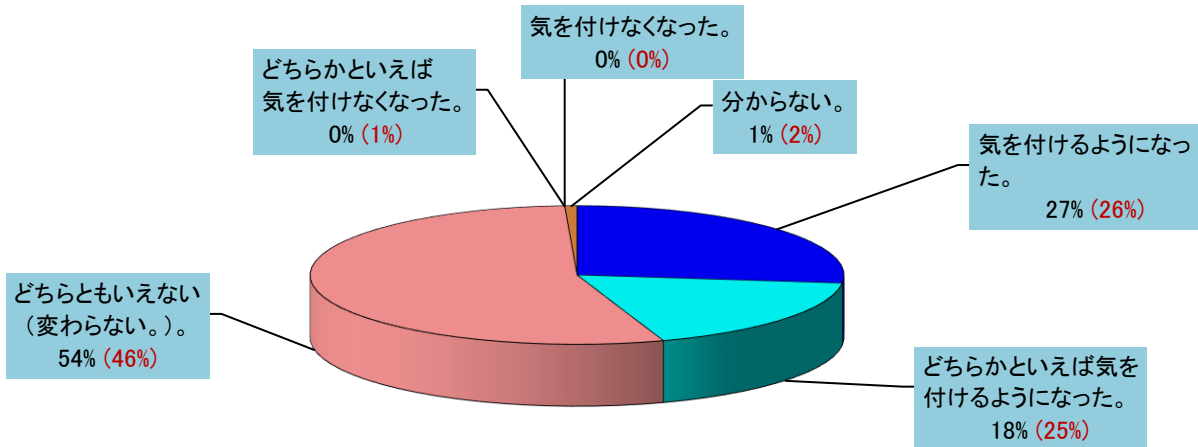
「犯罪の起きにくい社会づくりを行うための考え方」について、「地域住民、行政及び警察が一体となって行うべきである。」が最多で、次いで「地域住民の連携で行うべきである。」、「警察の仕事である。」の順に回答が多い。

問8 犯罪の起きにくい社会づくりを実現するためには、どのような取組が必要であると思いますか。(この中から2つまであげてください) (単位:人)



「犯罪の起きにくい社会づくりを実現するための取組」について、「街路灯を設置したり、公園の見通しを良くするなど、犯罪防止につながるような環境の整備」が最多で、次いで「警察、地域住民、自治体、学校等の相互の連携強化」、「街頭防犯カメラの設置」の順に回答が多い。

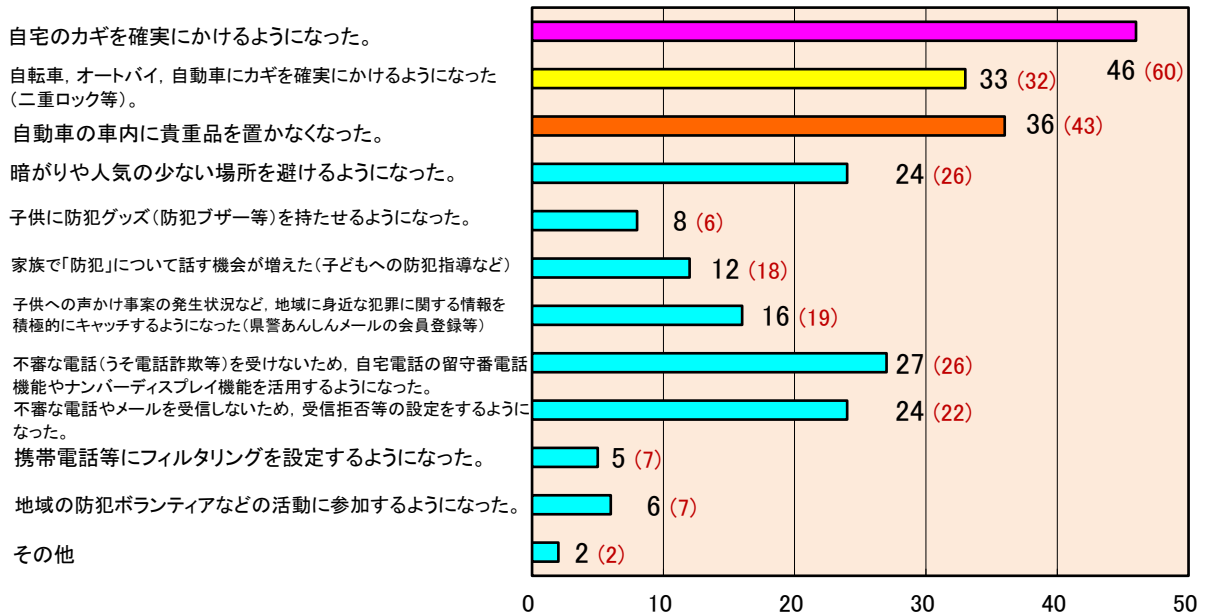
問9 あなたは、ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになりましたか。



「ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになったか」について、「気を付けるようになった。」又は「どちらかといえば気を付けるようになった。」と回答した方は、45パーセントであり、前回調査時より6ポイント減少し、「気を付けなくなった。」又は「どちらかといえば気を付けなくなった。」と回答した方は、0パーセントであり、前回の調査時より1ポイント減少している。

更問① どのような点に気を付けるようになりましたか。(複数回答可)

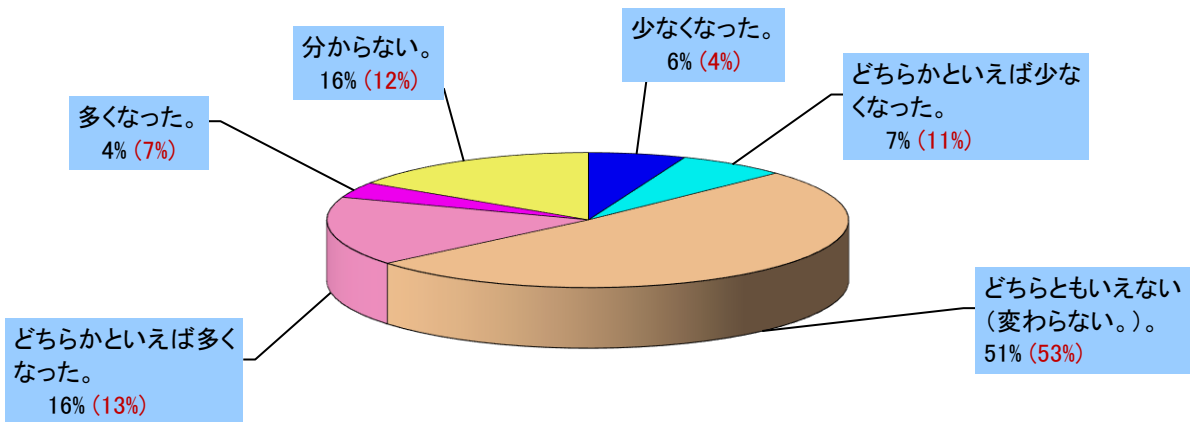
～ 問9で「気を付けるようになった。」又は「どちらかといえば気を付けるようになった。」と回答した方への再質問 (単位:人)



「ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになったか」について、「気を付けるようになった。」又は「どちらかといえば気を付けるようになった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「自宅のカギを確実にかけるようになった。」が最多で、次いで「自動車の車内に貴重品を置かなくなった。」、「自転車、オートバイ、自動車にカギを確実にかけるようになった(二重ロック等)。」の順に回答が多い。

4 子供の安全対策について

問10 ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが犯罪被害に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。

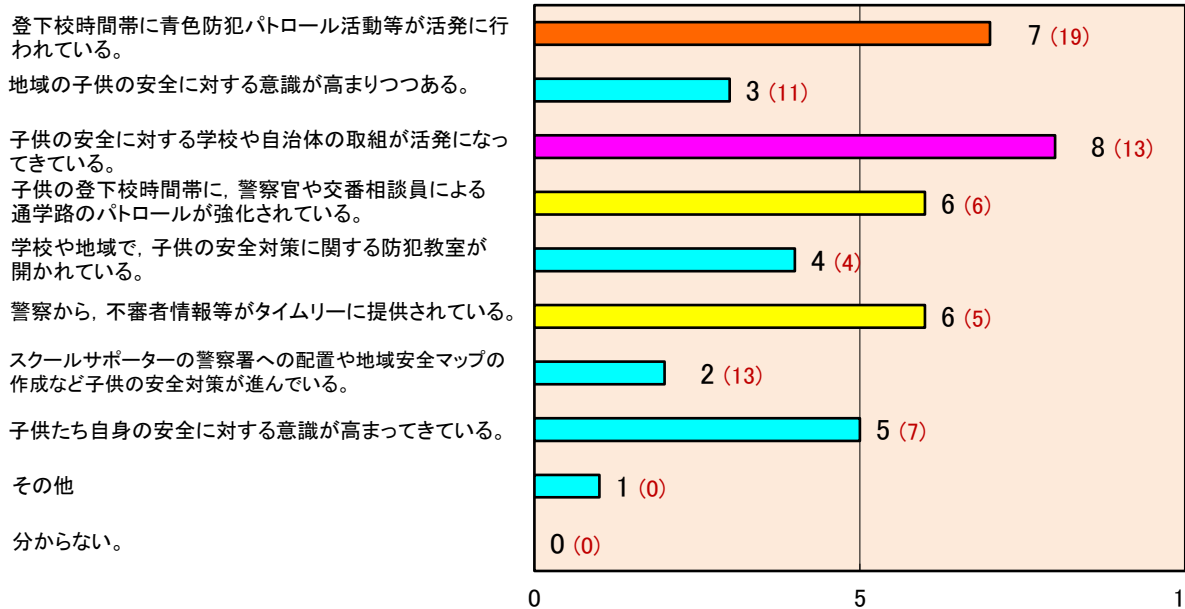


「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえ少なくなった。」と回答した方は13パーセントであり、前回の調査時より2ポイント減少し、「多くなった。」又は「どちらかといえ多くなった。」と回答した方は20パーセントであり、前回の調査時と同じであった。

更問① 少なくなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

～ 問10で「少なくなった。」又は「どちらかといえ少なくなった。」と回答した方への再質問

(単位:人)

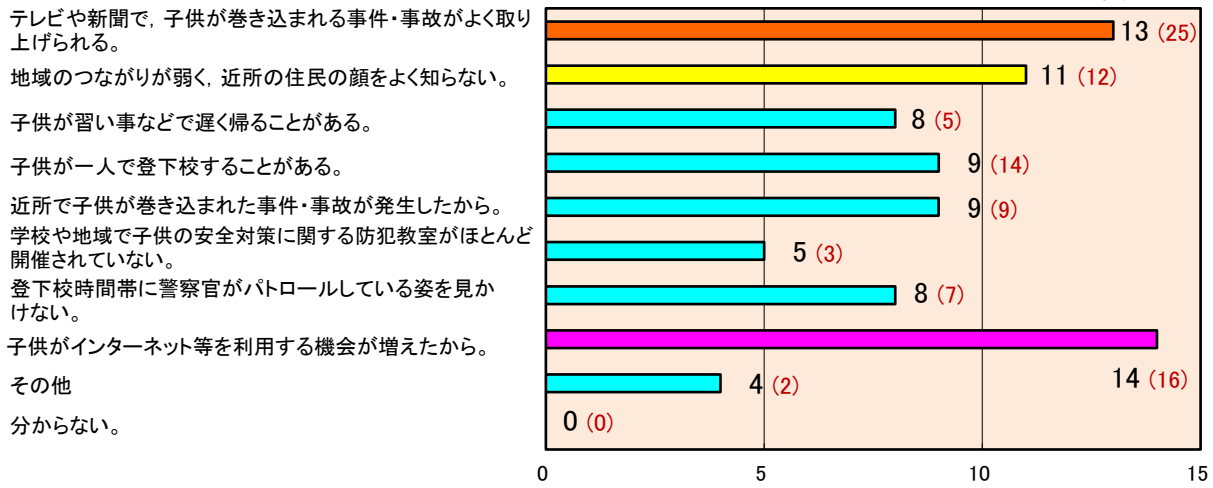


「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえ少なくなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「子供の安全に対する学校や自治体の取組が活発になってきている。」が最多で、次いで「登下校時間帯に青色防犯パトロール活動等が活発に行われている。」であり、「子供の登下校時間帯に、警察官や交番相談員による通学路のパトロールが強化されている。」、「警察から、不審者情報等がタイムリーに提供されている。」が同順の回答となっている。

更問② 多くなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

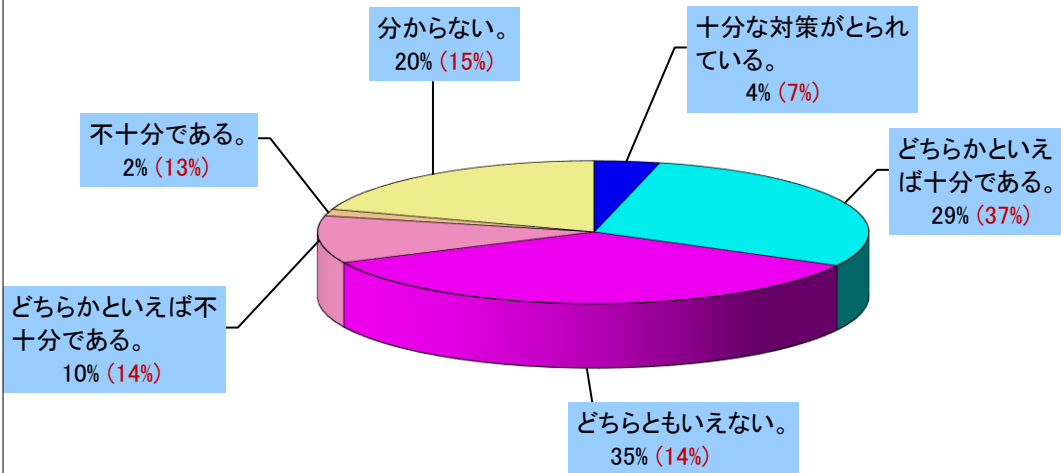
～ 問10で「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方への再質問

(単位:人)



「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「子供がインターネット等を利用する機会が増えたから。」が最多で、次いで「テレビや新聞で、子供が巻き込まれる事件・事故がよく取り上げられる。」、「地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をよく知らない。」の順に回答が多い。

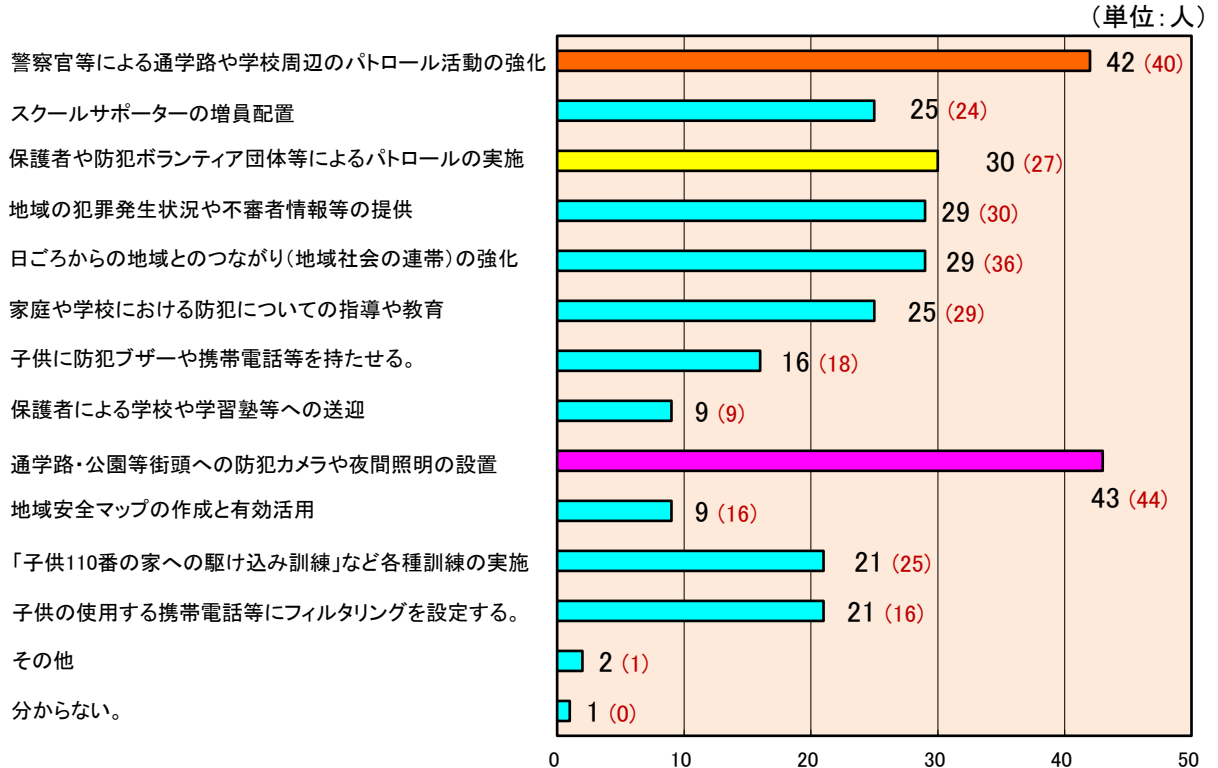
問11 あなたは、子供の安全対策についてどう思いますか。



「子供の安全対策」について、「十分な対策がとられている。」又は「どちらかといえば十分である。」と回答した方が、33パーセントであり、前回の調査時よりも11ポイント減少し、「不十分である。」又は「どちらかといえば不十分である。」と回答した方は12パーセントであり、前回の調査時よりも15ポイント減少した。

更問① 子供の安全対策には何が必要だと思われますか。(複数回答可)

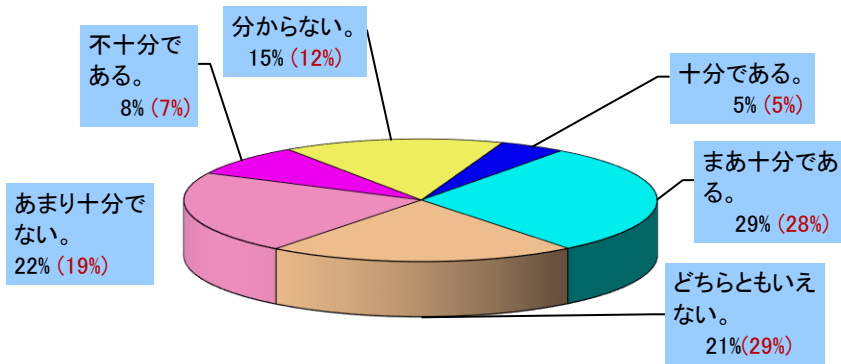
～ 問11で「どちらともいえない」、「どちらかと言えば不十分である」、「不十分であると思う。」と回答した方への再質問



「子供の安全対策には何が必要か」について、多くの方が、「通学路等街頭への防犯カメラの設置」、「警察官等による通学路や学校周辺のパトロール活動の強化」、「保護者や防犯ボランティア団体等によるパトロールの実施」が必要であると回答している。

5 交番・駐在所の活動について

問12 あなたは、近くの交番・駐在所の警察官の活動について、十分であると思いますか。

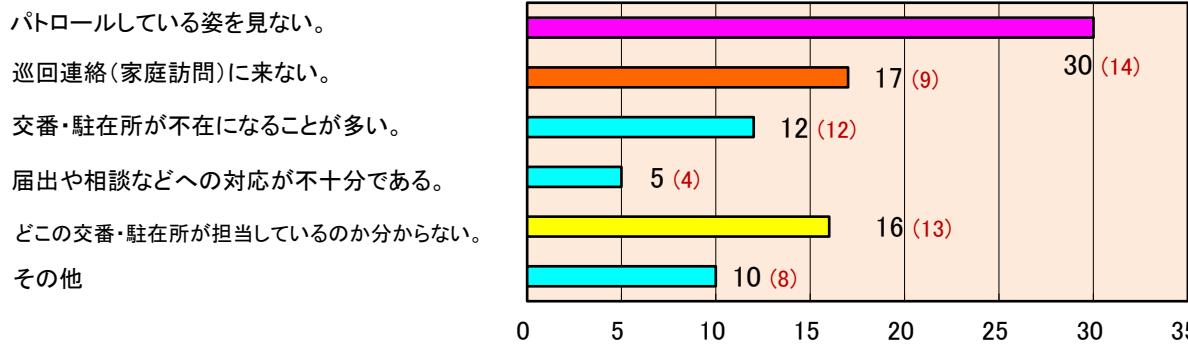


「近くの交番・駐在所の警察官の活動」について、「十分である。」又は「まあ十分である。」と回答した方が34パーセントで、前回の調査時より1ポイント増加し、「不十分である。」又は「あまり十分でない。」と回答した方は、30パーセントで、前回の調査時より4ポイント増加している。

更問① 十分でない理由は何ですか。(複数回答可)

～ 問12で「あまり十分でない」又は「不十分である」と回答した方への再質問

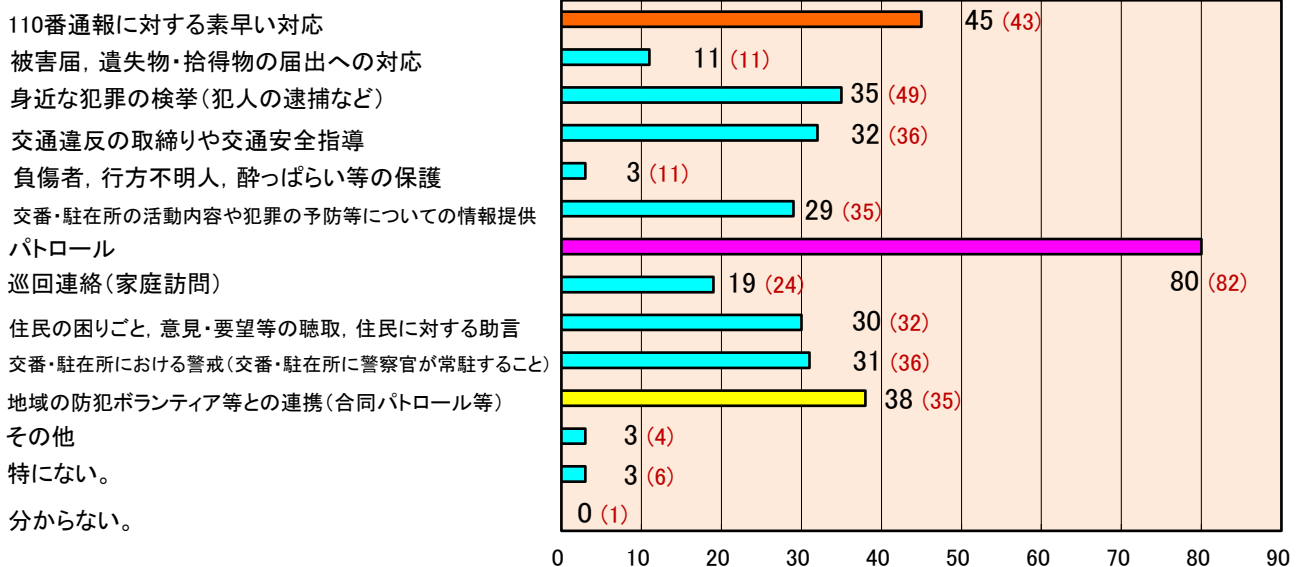
(単位:人)



「近くの交番・駐在所の警察官の活動に対して十分でない理由」については、「パトロールしている姿を見ない。」という回答が最多で、次いで「巡回連絡(家庭訪問)に来ない。」、「どこの交番・駐在所が担当しているのか分からない。」の順に回答が多い。

問13 あなたは、今後、交番や駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。(この中から3つまであげてください)

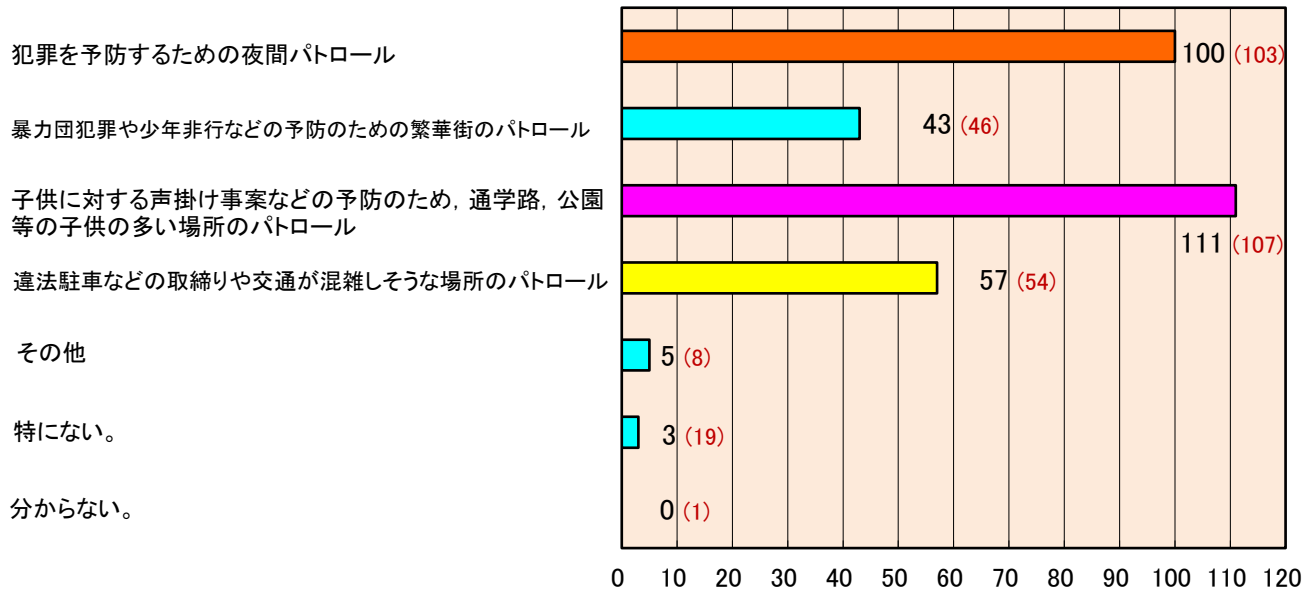
(単位:人)



「今後、交番・駐在所の警察官に特に強化してほしい活動」については「パトロール」が最多で、次いで「110番通報に対する素早い対応」、「地域の防犯ボランティア等との連携(合同パトロール等)」の順に回答が多い。

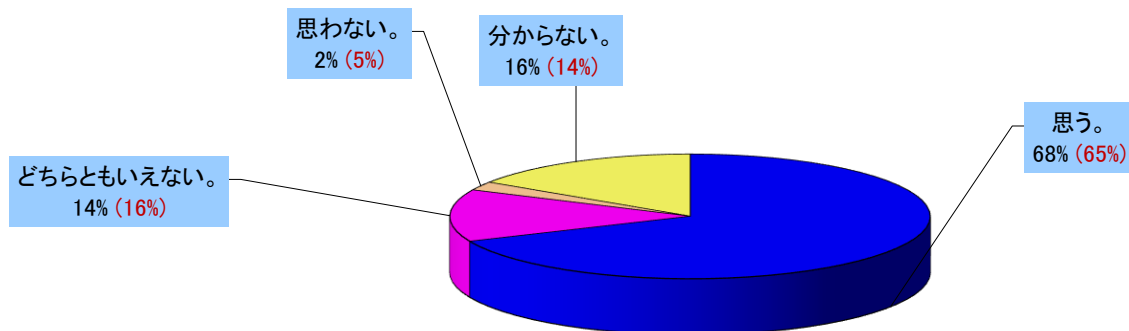
問14 あなたは、警察官がパトロールを行う際、どのような時間帯や場所を重点的に行えばよいと思いますか。(複数回答可)

(単位:人)



「警察官がパトロールを行う際の時間帯や場所」について、「子供に対する声掛け事案などの予防のため、通学路、公園等の子供の多い場所のパトロール」が最多で、次いで「犯罪を予防するための夜間パトロール」、「違法駐車などの取締りや交通が混雑しそうな場所のパトロール」の順に回答が多い。

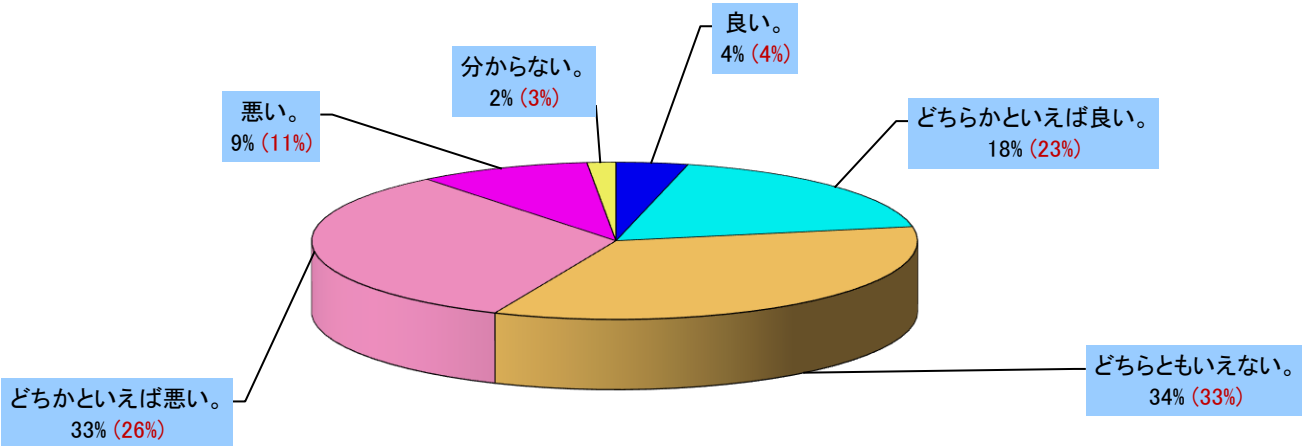
問15 警察官が、パトロールなどで交番にいないときでも、交番を訪れた住民に対応することができるように交番相談員を交番に配置しています。あなたは、交番相談員が交番にいたことが地域住民へのサービスにつながっていると思いますか。



「交番相談員の配置が住民へのサービスにつながっていると思いますか。」について、「思う。」と回答した方は、68パーセントであり、前回の調査時より3ポイント増加し、「思わない。」と回答した方は、2パーセントであり、前回の調査時より3ポイント減少した。

6 交通事故抑止対策について

問16 あなたは、鹿児島県内の交通マナーについてどのように感じていますか。

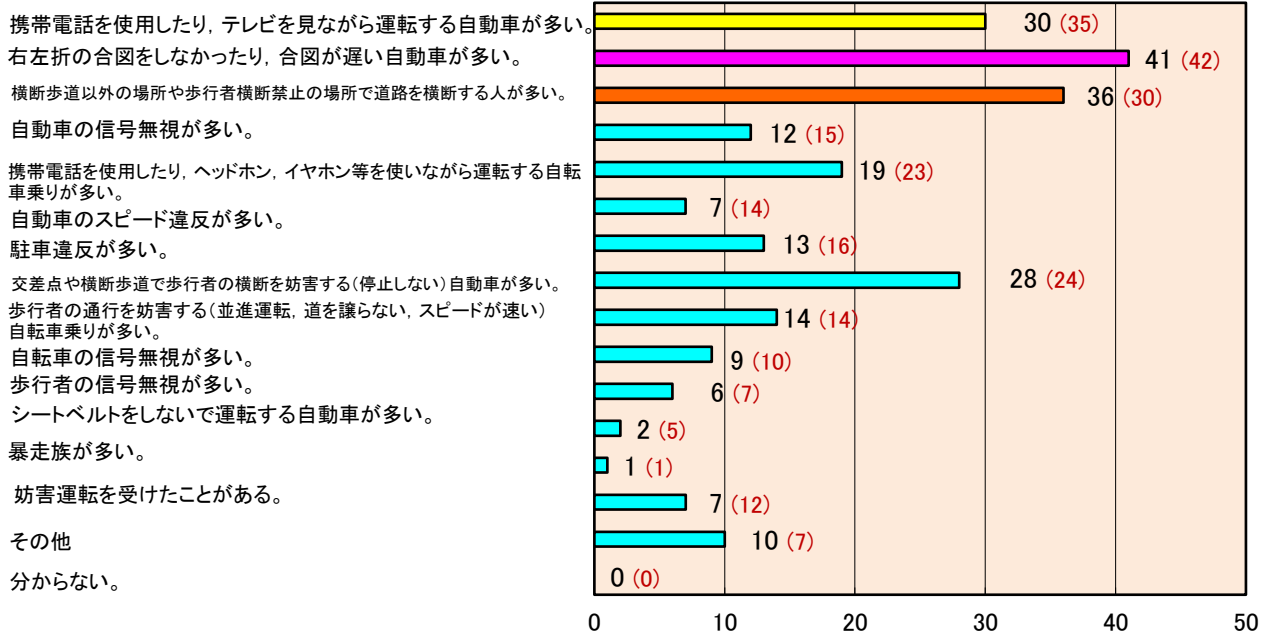


「鹿児島県内の交通マナー」について、「良い。」又は「どちらかといえば良い。」と回答した方が22パーセントであり、前回の調査時より5パーセント減少し、「悪い。」又は「どちらかといえば悪い。」と回答した方が42パーセントであり、前回の調査時より5ポイント増加している。

更問① そのように感じる理由は何ですか(複数回答可)

～ 問16で「どちらかといえば悪い。」又は「悪い。」と回答した方への再質問

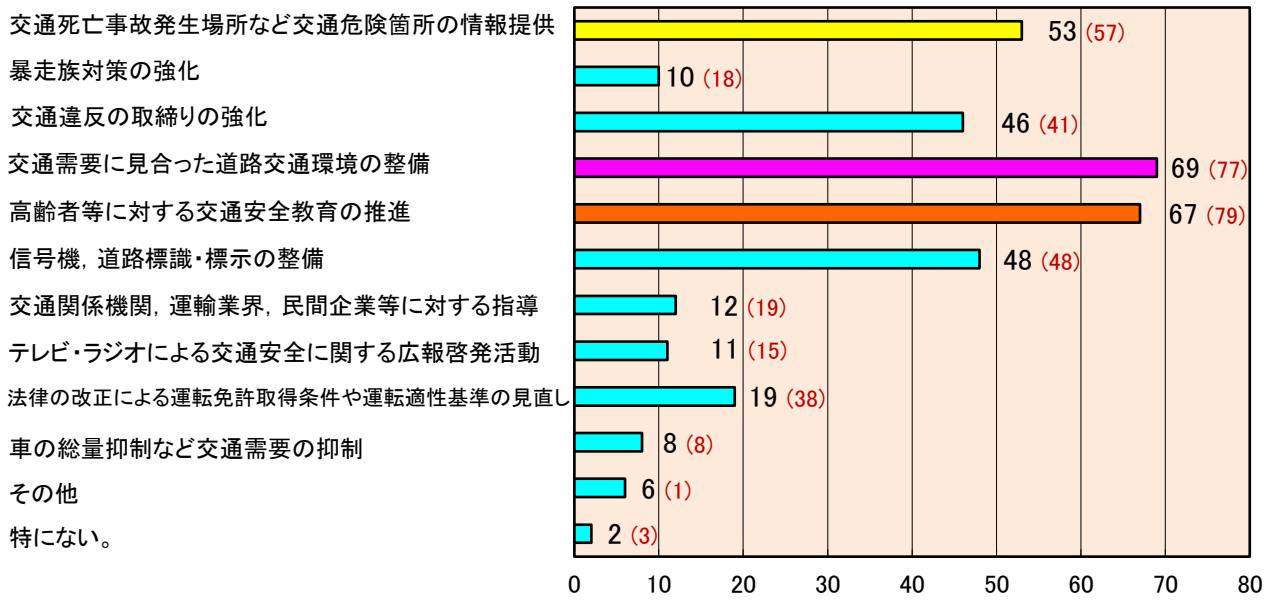
(単位:人)



「鹿児島県内の交通マナー」について、「悪い。」又は「どちらかといえば悪い。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「右左折の合図をしなかったり、合図が遅い自動車が多い。」が最多で、次いで「横断歩道以外の場所や歩行者横断禁止の場所で道路を横断する人が多い。」、「携帯電話を使用したり、テレビを見ながら運転する自動車が多い。」の順で回答が多い。

問17 あなたが、交通事故抑止対策として、警察に力を入れてもらいたいことは何ですか。
(この中から3つまであげてください)

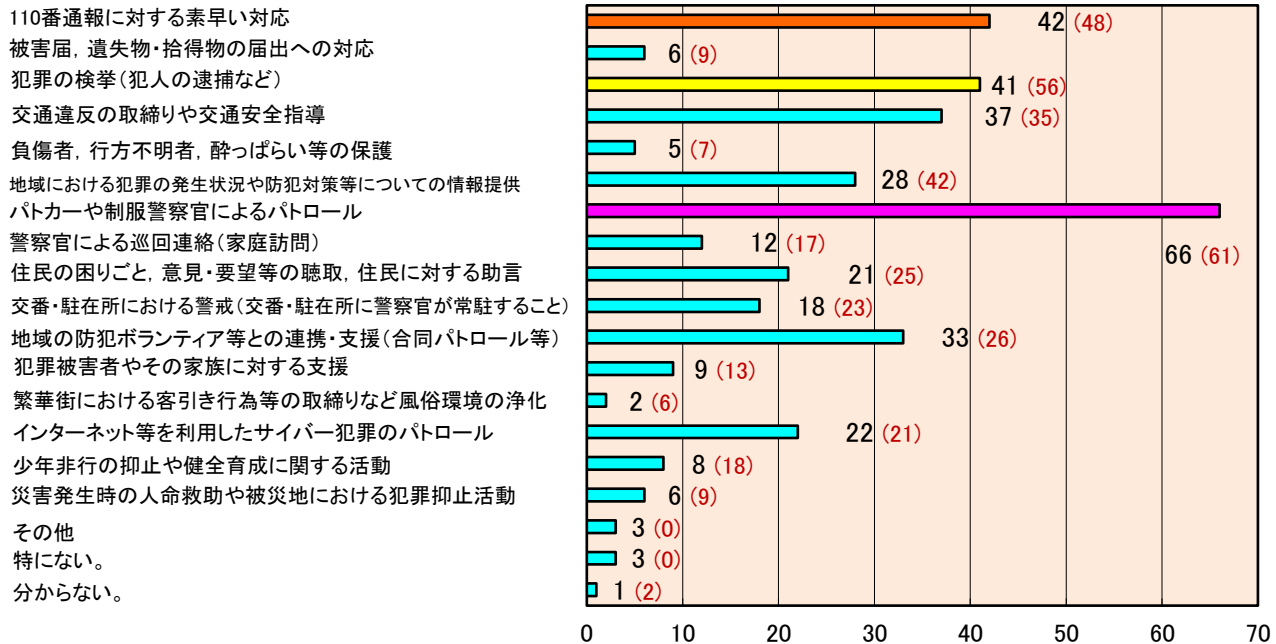
(単位:人)



「交通事故抑止対策として、警察に力を入れてもらいたいこと」については、「交通需要に見合った道路交通環境の整備」が最多で、次いで、「高齢者等に対する交通安全教育の推進」,「交通死亡事故発生場所など交通危険箇所の情報提供」の順に回答が多い。

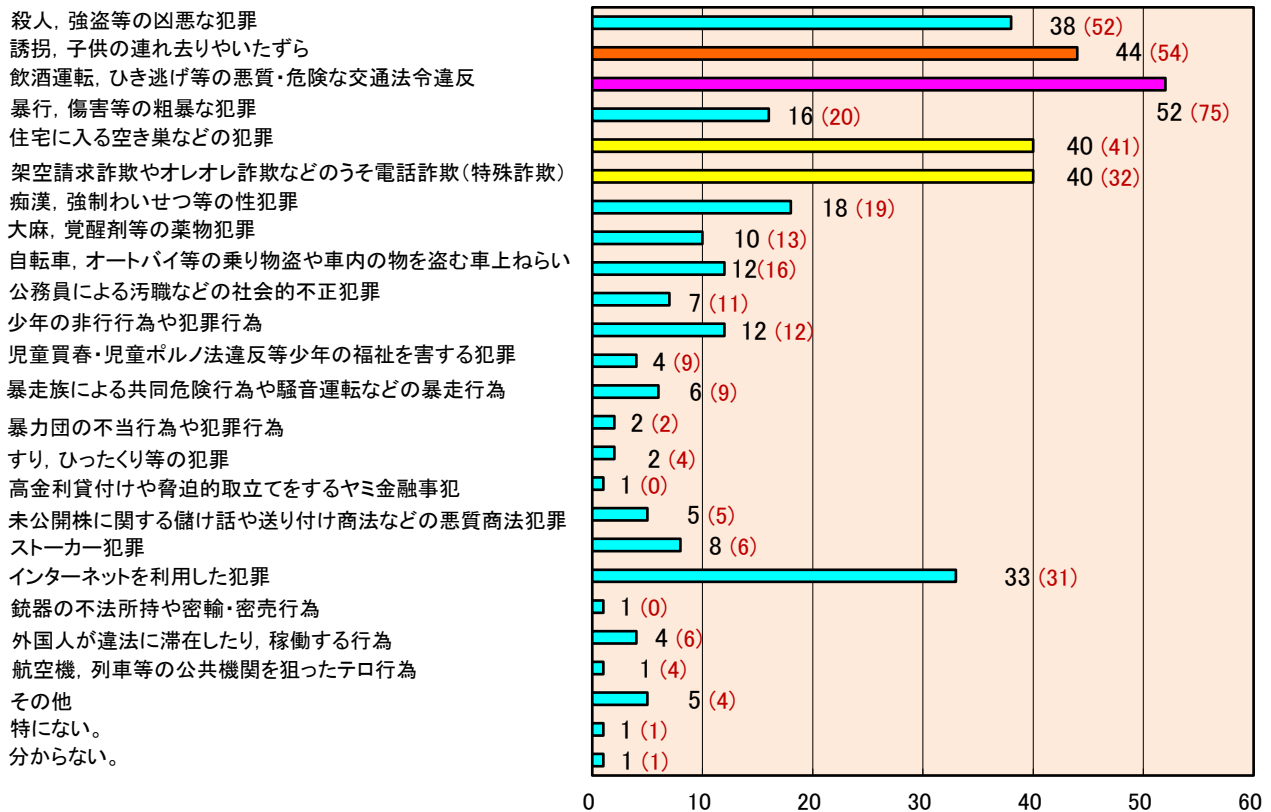
7 警察に対する要望について

問18 あなたは、警察に特に力を入れてほしい活動として、どのようなものを望みますか。
(この中から3つまであげてください) (単位:人)



「警察に特に力を入れてほしい活動として望んでいること」については、「パトカーや制服警察官によるパトロール」という回答が最多で、次いで、「110番通報に対する素早い対応」、「犯罪の検挙(犯人の逮捕など)」の順に回答が多い。

問19 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしいと思う犯罪は何ですか。
(この中から3つまであげてください) (単位:人)



「警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪」については、「飲酒運転、ひき逃げ等の悪質・危険な交通法令違反」が最多で、次いで「誘拐、子供の連れ去りやいたずら」であり、「住宅に入る空き巣などの犯罪」、「架空請求詐欺やオレオレ詐欺などのうそ電話詐欺(特殊詐欺)」が同順の回答となっている。